

表 3

自衛消防隊の活動項目チェックシート

活動項目チェックシート（防火対象物自衛消防隊長の統括指揮項目）（チェック表 **指揮A**）

	指揮項目等	チェック欄	備考
1	火災確認中の旨の放送等の指示（放送設備連動の場合は省略）をしたか。	適・否	※
2	火災断定をしたか。 （現場からの火災連絡、受信機に複数の警戒区域が火災表示した場合、感知器発報とスプリンクラー設備が前後して作動した場合等）	適・否	※
3	119番通報指示又は通報済みの確認をしたか。	適・否	※
4	出火及び延焼状況の情報収集の指示をしたか。 （出火場所、燃焼物体、燃焼範囲の状況（炎、煙の拡散状況）、危険物品等の消火活動上支障のあるものの有無、出火原因）	適・否	※
5	各種設備の作動停止指示をしたか。 （空調、常用E V、エスカレーター等）	適・否	
6	関係者（管理権原者等）への連絡指示をしたか。	適・否	※
7	避難の情報収集の指示をしたか。 （逃げ遅れの有無、避難誘導状況、負傷者等の状況、避難者数）	適・否	※
8	消火状況の情報収集の指示をしたか。 （消火器の使用状況、屋内消火栓の使用状況、スプリンクラー設備の作動状況）	適・否	※
9	出火室に自力避難困難者が在室する場合は、安全防護班及び応急救護班に優先して出火室の避難救出の任務を指定したか。	適・否	
10	区画形成の措置状況の情報収集の指示をしたか。	適・否	
11	関係図書の準備をしたか。 （各階の平面図及び立面図、ダクト系統図、消防用設備等の設置図、その他必要な図書）	適・否	
12	指示、伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※
集 計（適の数／該当項目）		/	

- ・ 備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。
- ・ 防火対象物自衛消防隊長の代行者が行動する場合も当該防火対象物自衛消防隊長が行動したものとみなす。

活動項目チェックシート（想定出火場所の防火対象物地区隊長の現場活動指揮項目）

（チェック表 **指揮B**）

	指揮項目等	チェック欄	備考
1	火災断定をしたか。（現場からの火災連絡等）	適・否	※
2	通報連絡（情報）班に119番通報又は本部隊への火災通報指示をしたか。	適・否	※
3	各班（担当）への活動指示をしたか。 （事前の任務付与による行動の場合は省略）	適・否	※
4	通報連絡（情報）班に出火及び延焼状況の情報収集の指示をしたか。 （出火場所、燃焼物体、燃焼範囲の状況（炎、煙の拡散状況）、危険物品等の消火活動上支障のあるものの有無、出火原因）	適・否	※
5	避難状況から避難誘導班への避難誘導指示をしたか。 （避難方向、避難対象範囲）	適・否	※
6	出火室に自力避難困難者が在室する場合は、安全防護班及び応急救護班に優先して出火室の避難救出の任務を指定したか。	適・否	
7	通報連絡（情報）班に本部隊への情報提供の指示をしたか。	適・否	※
8	指示、伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※
集 計 （適の数／該当項目）		/	

- ・ 備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。
- ・ 本表は、防火対象物地区隊が設けられている場合に使用する。
- ・ 防火対象物地区隊長の代行者が行動する場合も、当該防火対象物地区隊長が行動したものとみなす。
- ・ 大規模事業所等で防火対象物地区隊の中に事業所地区隊が設けられている場合は、事業所地区隊長にも適用する。

活動項目チェックシート（隊員の活動項目）

（チェック表 **活動A**）

	活動項目等	チェック欄	備考
本部隊の拠点となる場所から現場への駆付け員	(1) 自動火災報知設備の発報場所を確認したか。	適・否	※
	(2) 各隊員は、自衛消防隊長から現場任務を確認したか。	適・否	※
	(3) 事前計画の携行品を持参したか。 (メガホン、送受話器、マスターキー、非常用E Vキー等)	適・否	※
	(4) 服装は活動に支障ないか。 (靴（ひもは解けてないか）、手袋等)	適・否	
	(5) 現場への駆付けは、最短距離又は時間（非常用E V、避難階段の選択）であるか。 (常用E Vを使用し出火点に向かった場合、停電時最寄階停止装置付きのE Vを使用し、出火区画の直下階までの使用であること。)	適・否	※
	(6) 非常用E Vの消防一次運転の操作は適正か。 (ボタンの押し方、到着時の消防運転の鍵の切の操作等)	適・否	
活動A	(7) 出火階到着から感知器発報区域まで迷わずに駆付けられたか。	適・否	※
	(8) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※
集 計 (適の数/該当項目)		/	

備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。

活動項目チェックシート（隊員の活動項目）

（チェック表 **活動B**）

	活動項目等	チェック欄	備考
消防機関等への通報	(1) 火災を発見した者、又は現場確認者等から火災の連絡を受けた時、直ちに119番通報をしたか。	適・否	※
	(2) 119番通報（火災通報装置（有人直接通報等）の場合は東京消防庁からの問い合わせに対する応答）は、あわてず正確に実施できたか。	適・否	※
	ア 火災である旨 イ 所在地、建物の名称及び目標建物 ウ 火災の状況（出火階、燃焼物、逃げ遅れの有無等）	適・否	※
活動B	(3) 防火対象物自衛消防隊長又は防火対象物地区隊長及び関係者（管理権原者等）への火災発生（及び119番通報済み）の連絡をしたか。	適・否	※
	(4) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※
集 計 (適の数/該当項目)		/	

備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。

活動項目チェックシート（隊員の活動項目）

（チェック表 **活動C**）

		活動項目等	チェック欄	備考
館内放送	放送設備がある場合	(1) 放送は同一の者が実施したか。	適・否	※
		(2) 在館者への避難誘導放送は、火災発生確認後、速やかに行われたか。	適・否	※
		(3) 放送内容のマニュアルが用意されているか。	適・否	※
		(4) 放送設備の放送内容は適正か。	適・否	※
		ア 放送選択階は適正か。	適・否	※
		イ 声は落ち着いて、明確な指示口調か。	適・否	※
		ウ 放送内容は分かりやすいか。	適・否	※
		エ 繰り返し放送しているか。	適・否	※
		オ 送り手を言っているか。	適・否	※
		(5) 階選択は出火階及び出火直上階を優先したか。	適・否	※
	(6) 放送内容に避難時のE Vの使用禁止が含まれているか。	適・否		
	(7) 全館放送する時期は適正か。	適・否		
	(8) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※	
	ない場合	(1) 出火階以外の階へ火災発生及び延焼状況の連絡（内線電話、外線電話等）を行ったか。	適・否	※
(2) 伝達及び応答は適正な声量か。		適・否	※	
集 計 (適の数/該当項目)			/	

備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。

活動項目チェックシート（隊員の活動項目）

（チェック表 **活動D**）

		活動項目等	チェック欄	備考
情報収集	活動D	(1) 出火場所を確認したか。	適・否	※
		(2) 何が燃えているかを確認したか。	適・否	※
		(3) 逃げ遅れを確認したか。	適・否	※
		(4) 負傷者の有無及び状況を確認したか。	適・否	※
	(5) 区画形成状況を確認したか。	適・否	※	
	(6) 防火対象物自衛消防隊長又は防火対象物地区隊長へ前(1)から(5)の情報を連絡したか。	適・否	※	
	(7) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※	
集 計 (適の数/該当項目)			/	

備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。

		活動項目等	チェック欄	備考		
初期消火	消火器	(1) 現場に駆付ける途中、消火器を携行したか。	適・否	※		
		(2) 火災発見時に「火事だ!」と周囲に聞こえる声で知らせたか。	適・否	※		
		(3) 躊躇なく消火器で初期消火を行ったか。 (場合によっては消火器を使わずに最初から屋内消火栓を使ってもよい。)	適・否	※		
		(4) 消火器の操作手順等は適正か。 ア 消火器の適応性は問題ないか。 イ 安全ピンを抜き、ノズルを火点に向け、レバーを握る順番の動作はできているか。 ウ 射程距離内に近づき燃焼物に放射しているか。	適・否	※		
		(5) 消火不能の場合は、他の任務に移行しているか。	適・否	※		
		(6) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※		
	屋内消火栓	活動E1	(1) 直近で火煙の危険のない屋内消火栓を使用したか。	適・否	※	
			(2) 燃焼物は水による消火で適正か。 (燃焼物は電気設備や禁水性の危険物などでないこと。)	適・否	※	
		1号消火栓	(3) 屋内消火栓の操作手順は適正か。 ----- ア 起動ボタンを押す。 イ あわてずにホースを延長する。 ウ 放水始めの合図と共にバルブを全開にする。 エ ホースの引っ張り防止を行う。	適・否	※	
			オ 筒先の確保及びノズルの操作を適正に行う。			
		2号消火栓	ア 起動ボタンを押す。 イ 消火栓開閉弁を開く。 ウ あわてずにホースを延長する。 エ 筒先の確保及びノズルの操作を適正に行う。			
			活動E2	(4) 延焼状況により2つ目の屋内消火栓の使用は適正か。また、3つ目の屋内消火栓を使用していないか。	適・否	
		該当する場合	活動E	(5) 延長ホースが防火区画を構成する防火戸の閉鎖の妨げにならないようにしてあるか。	適・否	
			(6) 消火不能の際の撤退時に、ホースが防火戸の閉鎖の妨げにならないようにしてあるか。	適・否		
			(7) 消火不能の場合は、他の任務に移行しているか。	適・否	※	
			(8) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※	
	補助散水栓	活動E3	(1) 補助散水栓の位置は把握しているか。	適・否	※	
			(2) 補助散水栓の取扱いは適正か。 ア 開閉弁を開く。 イ あわてずにホースを延長する。 ウ 筒先の確保及びノズルの操作を適正に行う。	適・否	※	
			(3) 延長ホースが防火区画を構成する防火戸の閉鎖の妨げにならないようにしてあるか。	適・否		
		該当する場合	(4) 消火不能の際の撤退時に、ホースが防火戸の閉鎖の妨げにならないようにしてあるか。	適・否		
(5) 消火不能の場合は、他の任務に移行しているか。			適・否	※		
(6) 伝達及び応答は適正な声量か。			適・否	※		
集計		(適の数/該当項目)	/			

備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。

活動項目チェックシート（隊員の活動項目）

（チェック表 **活動F**）

		活動項目等	チェック欄	備考
避難誘導 活動F 避難救出		(1) 現場における避難誘導は、メガホン、拡声器等を活用したか。	適・否	※
		(2) 安全な方向への避難誘導をしたか。	適・否	※
		(3) 安全防護班及び応急救護班と協力し、出火室の入所者（自力避難困難者）等を優先して救出したか。	適・否	
		(4) 誘導員の配置は、階段、通路角、E V前等に配置したか。	適・否	
		(5) エスカレーターやE Vによる避難をしていないか。	適・否	
		(6) 出火区画内の逃げ遅れの確認をしたか。	適・否	※
		(7) 区画内の避難完了ごとに、防火対象物自衛消防隊長又は防火対象物地区隊長へ状況報告をしたか。	適・否	※
		(8) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※
		集 計 (適の数/該当項目)	/	

備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。

活動項目チェックシート（隊員の活動項目）

（チェック表 **活動G**）

		活動項目等	チェック欄	備考
安全防護区画 活動G	出火区画	(1) 出火場所の防煙たれ壁を作動したか。	適・否	
		(2) 出火場所の排煙設備を作動したか。 (自然排煙の場合、風の影響で煙が拡散する場合には閉める。)	適・否	
		(3) 出火室の避難者が自力避難困難者の場合は、避難誘導員と連携し救出活動を行ったか。	適・否	
		(4) 出火区画の防火戸、防火シャッターは閉鎖したか。 (防火シャッターは、2段階降下（途中で停止できるものに限る。）を行い、避難終了後直ちに閉鎖する。)	適・否	※
		(5) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※
	隣接区画	(1) 出火階の水平区画を形成したか。	適・否	※
		(2) 防火シャッターは避難者の障害とならないようにしたか。 (防火シャッターは、2段階降下（途中で停止できるものに限る。）を行い、避難終了後直ちに閉鎖する。)	適・否	
		(3) 自動閉鎖式の防火戸を状況によって手動で閉めたか。	適・否	
		(4) 排煙設備を作動したか。 (自然排煙の場合、風向きより有効な場所を開放する。)	適・否	
		(5) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※
	堅穴区画	(1) エスカレーターを停止したか。 (エスカレーターに乗降している者がいないことを確認して停止する。)	適・否	
		(2) 出火階の堅穴区画を形成したか。	適・否	※
		(3) 出火階の堅穴区画形成は水平区画形成より優先したか。	適・否	
(4) 伝達及び応答は適正な声量か。		適・否	※	
		集 計 (適の数/該当項目)	/	

備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。

活動項目チェックシート（隊員の活動項目）

（チェック表 活動H）

	活動項目等	チェック欄	備考
応急救護	(1) 傷者の情報を受けたか。	適・否	※
	(2) 傷者を安全な場所へ移動したか。（負傷者がいない場合でも可）	適・否	
	(3) 応急手当は適正か。（負傷者がいない場合でも可）	適・否	
活動H	(4) 負傷者等がない場合は他の任務をしたか。	適・否	
	(5) 伝達及び応答は適正な声量か。	適・否	※
集 計 （適の数／該当項目）		／	

備考欄の「※」は必須項目とし、非該当の項目のチェック欄には、斜線を引くこと。